

一杯のコーヒーが 環境保全や社会貢献につながります

「マウンレーニア」の「ダブル」シリーズのパッケージには、緑のカエルマークが付いています。これは、「レインフォレスト・アライアンス (Rainforest Alliance)」の認証マークで、「持続可能な農業」によって原料がつけられていることを示すものです。熱帯雨林を維持することを目的に1987年に設立された国際的な非営利団体が、地球環境や地域社会の持続可能性を実現するために基準を定めて運営しています。

個人として普段から地球環境のための活動を継続することはハードルが高くても、毎日飲むコーヒーや紅茶に認証マーク付きの商品を選ぶことは気軽にできます。そんな選



ビバレッジマーケティンググループ
社員
山脇 知子

Voice

レインフォレスト アライアンス
日本市場代表
堀内千恵子氏

複数の商品で「レインフォレスト・アライアンス認証」の原料を使用し、緑のカエルマークの認知を広げていただき、弊社本部もとても感謝しています。今後も、他ブランドや他原料の使用範囲を拡大し、熱帯の環境や社会にさらに貢献されることを期待しています。



択肢として覚えていただけたらうれしいです。

実は、森永乳業はブラジルのダテラ農園の高品質なコーヒー豆を2000年から「マウンレーニア」のカフェラッテシリーズの原料として一部使用してきました。この農園が、環境保全や労働条件などの厳しい基準をクリアし、「レインフォレスト・アライアンス」の認証を取得したのは2003年のこと。森永乳業はその後このコーヒー豆を使いつづけていますが、100%使用の「ダブル」シリーズのみに認証マークを付けているのです。

また、商品名の「マウンレーニア」はアメリカ西海岸の成層火山で、富士山の姉妹山です。そこで2010年8月、清掃植樹の活動をしているNPO法人富士山クラブに売上の一部を寄付し、コーヒー豆の運搬用麻袋も寄贈。9月にはビバレッジマーケティンググループの3名が、植樹活動に参加しました。

皆さんが飲む一杯のコーヒーは、環境保護や社会貢献の絆でもあるのです。



通常のコーヒー規格の2倍量を使い、濃くて深い贅沢な味わいに仕上げた「ダブル」シリーズ。クリーミーエスプレッソ、エスプレッソ、アロマ微糖の3種が発売中。

コーヒーかすなどの残渣を無駄なく熱利用 農林水産省総合食料局長賞を受賞しました



神戸工場 製造部
マネージャー
新野 毅彦



平成22年度「食品産業CO₂削減大賞」において105件の応募のうち、優れた事例の15件のひとつとして選ばれました。

2009年1月から稼働をスタートした神戸工場のバイオマス設備では、コーヒー飲料やヨーグルトなどの生産プロセスから発生するいろいろな残渣を、メタン発酵とバイオマスボイラーでエネルギー転換し、有効利用しています。

比較的含水率の高いバイオマスであるコーヒー飲料やヨーグルト等はメタン発酵でガス化し、ボイラーの燃料に使用しています。また、含水率の低いコーヒーかすは乾燥させてバイオマスボイラーで燃焼させ、蒸気エネルギーを取り出しています。さらにメタン発酵で発生した発酵ケーキも、コーヒーかすの乾燥工程で投入してボイラーの燃料として活用するので、系内から廃棄物は殆ど発生しません。乾燥に使用する蒸気もバイオマスボイラーの発生蒸気でまかない、余剰蒸気は生産プロセスの熱源にするという高効率なエネルギー利用です。

稼働スタートから約2年半、さまざまな運転データを収集し、バイオマス量とボイラー炉内温度の最適化や、生産量にあった運転条件を探り出してきました。一方、メタン発酵設備では、発酵用熱源として既存ボイラーの廃熱を利用し、蒸気発生効率の改善をはかってきました。

現在は運転状態も安定し、カーボンニュートラルなバイオマス燃料の使用によって年間1,900トンものCO₂の排出を削減。同時に、ガス使用量の20%を削減するという成果をあげています。

こうした「多種バイオマスの最適な複合利用による熱供給」の取り組みが評価され、平成22年度「農林水産省総合食料局長賞」を受賞しました。今後も、生産ライン増設にともなう燃料発生量の増減に対応した効率的な運転条件を探り、さらなる環境負荷低減に取り組んでまいります。

